



2020年6月12日

各 位

会社名 株式会社インターアクション
代表者名 代表取締役社長 木地 伸雄
(コード番号 7725 東証第一部)
問合せ先 経営企画室 I R 担当
電話番号 045-263-9220

2020年5月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年4月10日に公表いたしました2020年5月期通期連結業績予想を下記の通り修正することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2020年5月期 通期連結業績予想数値の修正 (2019年6月1日～2020年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,889	2,122	2,109	1,395	127.72
今回修正予想(B)	7,059	1,537	1,533	1,075	98.43
増減額(B-A)	△1,830	△585	△576	△320	
増減率(%)	△20.6	△27.6	△27.3	△22.9	
(ご参考)前期実績 (2019年5月期)	7,986	1,980	1,943	1,386	141.13

2. 修正の理由

前回発表予想における売上高は、前期比11.3%増の8,889百万円を見込んでおりましたが、全てのセグメントにおいて売上高が予想を下回る見込みとなりました。各セグメントにおける状況は次の通りであります。

IoT 関連事業セグメントでは、主力製品である光源装置及び瞳モジュールの両製品について、売上高が予想を下回る見込みとなりました。

光源装置については、上半期における受注高及び売上高が想定より低い水準で推移したことに加え、第4四半期連結会計期間において売上計上を見込んでいた一部の製品に関して、売上計上のタイミングが来期へ後ろ倒しとなりました。また、下半期においては概ね当初の予想通り受注高及び売上高を確保することができたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によって営業活動が制限され、上半期の遅れを取り戻すための積極的な施策を講じることが出来なかったことも、今回の修正に至る要因の一つであると認識しております。

瞳モジュールについては、当初想定していた需要の高まりまで至らず、予想していた売上高を確保することが難しい状況となりました。

また、環境エネルギー事業セグメントにおいては、以前より関連業界における新規設備投資の需要が厳しい中、主力製品である乾燥脱臭装置及び排ガス処理装置の販売台数が予想よりも下回りました。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大による工事の延期や、顧客側の稼働率が低下したことによるメンテナンス関連作業の減少により、売上高を確保することが難しい状況となりました。

インダストリー4.0 推進事業セグメントにおいては、主に精密除振装置の販売について海外向け製品の売上高が予想より下回る見込みとなりました。

なお、売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回発表予想を下回る見込みです。

これらの結果、2020年4月10日に公表いたしました通期における売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の見通しを上記の通り修正致します。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は環境の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上